

世界最大の和刷毛を製造した吉川元啓さん(左)と愛知刷毛
刷子商工業協同組合の小関善久理事長(右)＝愛知県あま市で



182センチ 世界最大のハケ

あま市の知名度塗り替えろ

全国一の刷毛生産地である愛知県あま市を知ってもらおうと、愛知刷毛刷子商工業協同組合(あま市)が、幅百八十二センチもある巨大な刷毛を作った。「板で毛を挟む和刷毛では世界最大」といい、ギネス申請を検討している。

名産の技術力アピール

組合によると、あま市では大正期に大阪から技術を導入し、刷毛の製造が盛んになった。組合加盟の市内四十二業者が推計で昨年五百八十万本を生産。全国シェアの六割程度を占める。しかし、地場産業としては七宝焼の方が有名なため「刷毛もアピールしよう」と思い立った。作製した「刷毛工房

はけたけ」は金属で毛を挟む洋刷毛でなく、伝統の和刷毛で挑戦。幅が広がるほど素材のヤギの毛をそろえて挟むのが難しくなるが、あえて幅広に作り技術力を示すことに。先端を切らずにそろえ、自然の毛先を生かした。工房を営む吉川元啓さん(左)は「市場に出回る和刷毛は最大でも幅二十センチ。特注でも九十センチの注文が数年に一回ある程度」と話す。「さまざまな種類を作れることをPRしたい」と組合の小関善久理事長(右)。十七日にあま市七宝焼アートヴィレッジでのイベントで披露され、その後、常設展示される。